

特別企画：長野県内ホテル・旅館の倒産動向調査

2020年は6月末時点で8件、全国最多 前年1年間の4件から既に倍増、コロナ関連は3件

はじめに

もともと施設数が多く、激しい競争などから客室稼働率が伸び悩み、ホテル・旅館の倒産が高水準となることが多い長野県。2016年～2018年も3年連続で倒産件数が全国最多を記録した。2020年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けるケースが増加したこともあって、上半期が終了した6月末時点で8件と、既に前年の年間件数を大きく上回っている。

調査結果（要旨）

■2020年上半期のホテル・旅館の倒産は8件、負債は60億5900万円

2020年1～6月、県内では8件のホテル・旅館が倒産（法的整理、負債1000万円以上）、負債総額は60億5900万円に達した。件数は昨年1年間の2倍に、負債は10倍以上に及んでいる。

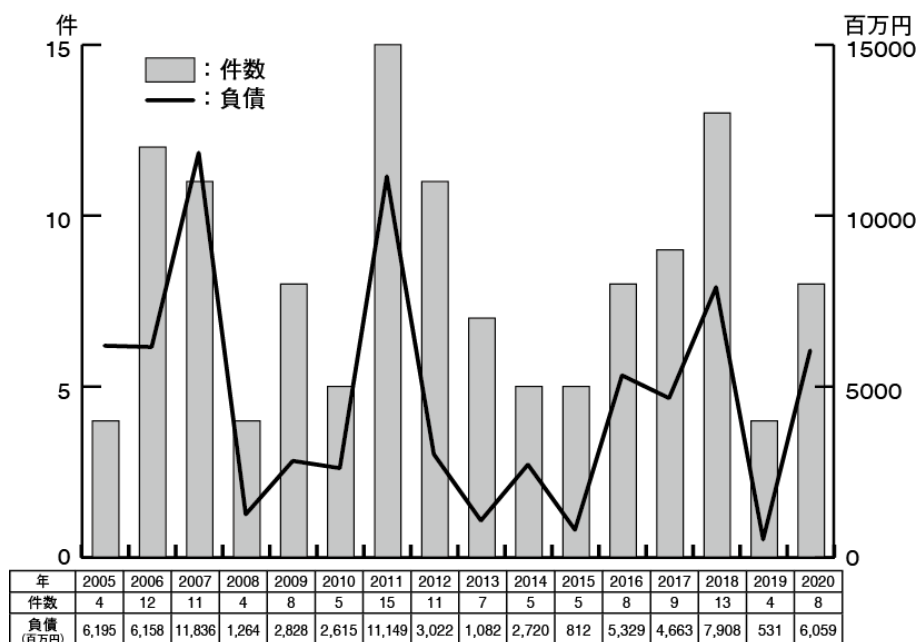
■倒産8件は都道府県別で最多

2020年上半期の倒産件数8件は、都道府県別にみると最も多い。負債は大阪府（161億4100万円）についで2番目に大きかった。

■別会社が事業を続けているケースは4件、新型コロナウイルス関連は3件

今年確認された倒産8件のうち、別会社により施設の運営が継続されているケースは4件にのぼっている。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたのは3件。

■長野県 ホテル・旅館の倒産推移（2005年～2020年、2020年は6月末現在）



1. ホテル・旅館の倒産が全国で高水準となること多い長野県

前ページの表・グラフは、2005年以降に県内で集計されたホテル・旅館の倒産件数と負債をまとめたもの（2020年は6月末現在）。これまで件数が最も多かったのは2011年の15件。2006年（12件）、2007年（11件）、2012年（11件）、2018年（13件）も10件を上回っている。一方、負債は2007年の118億3600万円が最大。2011年（111億4900万円）も100億円を超えた。

豊かな観光資源に恵まれ、宿泊施設数の多い長野県。バブル経済崩壊、リーマン・ショックなどを通じ観光需要が下降線をたどり、観光スタイルが変化する中で競争が激しさを増し、経営を悪化させるホテル・旅館が増加した。一方、近年は新会社に事業を譲渡し、金融債務など一部の債務を残した旧会社を法的整理で清算する事業再生スキームが構築されたり、倒産処理と前後して事業資産を別会社に売却したりする事例が散見されるなど、倒産処理を絡め施設の事業継続を目指すケースが倒産件数を押し上げる形にもなっている。

なお、倒産件数は2016～2018年に3年連続全国最多、2018年は負債も全国最大と、長野県のホテル・旅館の倒産は47都道府県の中で高水準に位置することが多い。

2. 別会社が施設の運営を続けるケースが半数、感染症拡大も倒産増加要因に

2019年は件数4件、負債5億3100万円にとどまっていたが、2020年に入ると状況は一変する。2020年は6月末時点で件数8件、負債60億5900万円。1年の半分が経過した時点で件数は前年の2倍、負債は11.4倍に達した。都道府県別では件数が最多、負債は大阪府（161億4100万円）に次いで2番目。

8件のうち、何らかの形で施設の営業が継続されているのが4件（構成比50.0%）。また、観光関連業者に甚大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた倒産は3件（同37.5%）。事業再生スキームの一環などとして施設の事業継続が図られる倒産処理が広がっていたところに、感染症の影響による倒産が加わったのが現在の状況とみることができる。負債が最も大きかったのは、5月22日に破産手続き開始決定を受けたホテル一万里（株）（佐久市、負債約35億2000万円）。

上半期だけで8件に達したホテル・旅館の倒産。早い段階で10件を突破し、年末までに過去最多を更新する可能性も低くない。水面下で事業再生スキームが進行し、年内に旧会社の倒産処理が表面化すると見込まれるケースもある。一方、長期化が予想される感染症の影響。関連倒産の増加が懸念されるが、経営維持に向けた国・自治体や金融機関の支援の力も強く働いており、感染症の行方、インバウンドを含めた観光動向とともに、支援の効果を注視していく必要がある。

なお、全国では2020年上半期、ホテル・旅館の倒産件数は73件、負債は536億8000万円だった。

■2020年上半期 県内地区別(件数)

	件数	構成比(%)
北信	3	37.5
東信	1	12.5
中信	3	37.5
南信	1	12.5
合計	8	100.0

■2020年上半期 都道府県別(件数)

順位	都道府県	件数	構成比(%)
1	長野県	8	11.0
2	静岡県	7	9.6
3	三重県	5	6.8
4	大阪府	4	5.5
5	福島県	3	4.1
5	東京都	3	4.1
5	石川県	3	4.1
5	奈良県	3	4.1
5	福岡県	3	4.1

※上位5都府県

■2020年上半期 都道府県別(負債)

順位	都道府県	負債(百万円)	構成比(%)
1	大阪府	16,141	30.1
2	長野県	6,059	11.3
3	滋賀県	5,400	10.1
4	愛知県	2,888	5.4
5	奈良県	2,230	4.2

※上位5府県

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 松本支店 担当:奥原
TEL 0263-33-2180 FAX 0263-35-7763

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。